

NO YOUNGER NO CITY



メンバー

伊藤加奈子 (滋賀大学経済学部 3 回生)

池田笑花 (成安造形大学 1 回生)

切田澄礼 (立命館大学 2 回生)

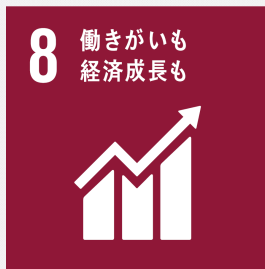
土橋彩乃 (成安造形大学 1 回生)

和田純矢 (立命館大学 2 回生)



1.概要

① Goal(目標)



① Goal(目標) ※関連



② 解決したい社会課題
滋賀県の若者の転出超過



③ 解決する手段
地域×産業×学生
(伝統産業)(林業)(デザイン)



④ 解決後の姿
2030年までに、
人口流出地域の
20~24代の就職希望者率**25%**以上。



「きっかけ」を提供していく

若者が働きたいと思える環境が整備されている

2020

2025

2030

若者・海外
に対して
滋賀県の
魅力・認知拡大

滋賀県の
中小企業の
魅力・認知拡大

海外の学生
の受け入れ強化
「体験」

滋賀県の
中小企業に魅力を感じる若者の増加
「体験」

滋賀県内での
「職業体験」
「暮らし体験」

コンペの開催

高島市
から
スタート

長浜市
において
スタート

就職優遇制度
の実施

起業サポート
の実施

NO YOUNGER NO CITY

3.具体的な解決アクション

①手段

学生と企業が関わり続けてサステナブルなまちづくり

具体例：高島 × 日本酒 × 木 × 学生

②参加者：自分の思いを形にしたい滋賀県の若者

パートナー：一般社団法人kikito様、高島の酒蔵
林業に携わる企業、県庁の方々etc....

③スケジュール

2,3月にコンペを開催。

学生に対するメリット

自分の考えたデザインが
実際に商品化される

ものづくりを実現することで
若者が自分のやりたいことを
明確にできるきっかけに

- ①高島市で起業を考える若者の増加
- ②高島市でものづくりに携わりたいという若者の増加

新しい産業の創出に。

高島市の取り組み

産業・ビジネス

創業をお考えの方を応援します！

高島市における創業支援事業計画の特徴

高島市では創業支援事業計画に基づき、下記2つの特定創業支援事業を行います。

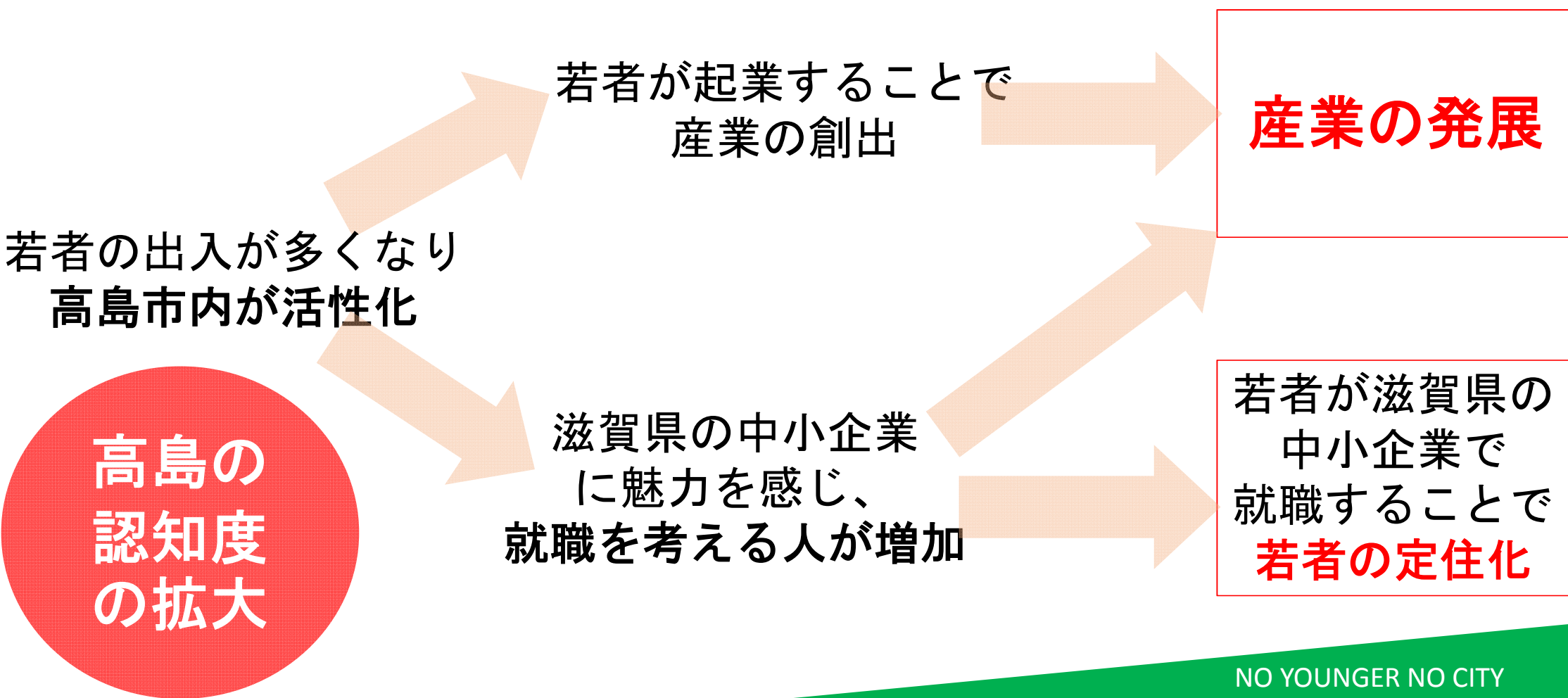
1. 「ワンストップ相談窓口」の設置 【特定創業支援事業】

高島市商工会内に創業支援のワンストップ相談窓口を設置し、創業希望者に対して、分野の相談に対し経営指導員が対応します。相談内容により、専門家や地元金融機関と支援によるフォローアップを実施します。相談窓口では、市、県、国の支援施策一覧を業支援を行っている支援機関をまとめ、相談者の要望に沿った支援機関を紹介します。

2. 実践型創業塾の開催 【特定創業支援事業】

創業希望者を対象とした「実践型創業塾」を開催し、創業の基礎知識からマーケティングなど創業前後に必要な知識を短期間で習得していただけます。受講後も経営指導員や各関係機関と連携しながら創業までの支援を行います。

高島に対するメリット



グローバルに対するメリット

クール滋賀

学生と協力し、日本の伝統産業を用いた
活性化を行なっていく**先行事例**として

木の**可能性**を広げる



NO YOUNGER NO CITY

5.連鎖や効果

林業を手段に8番、11番の達成を目指す

8 働きがいも
経済成長も



15 陸の豊かさも
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



6. プロジェクトの課題

パートナーシップ獲得

広報の拡充

基盤の整備



ご静聴ありがとうございました。